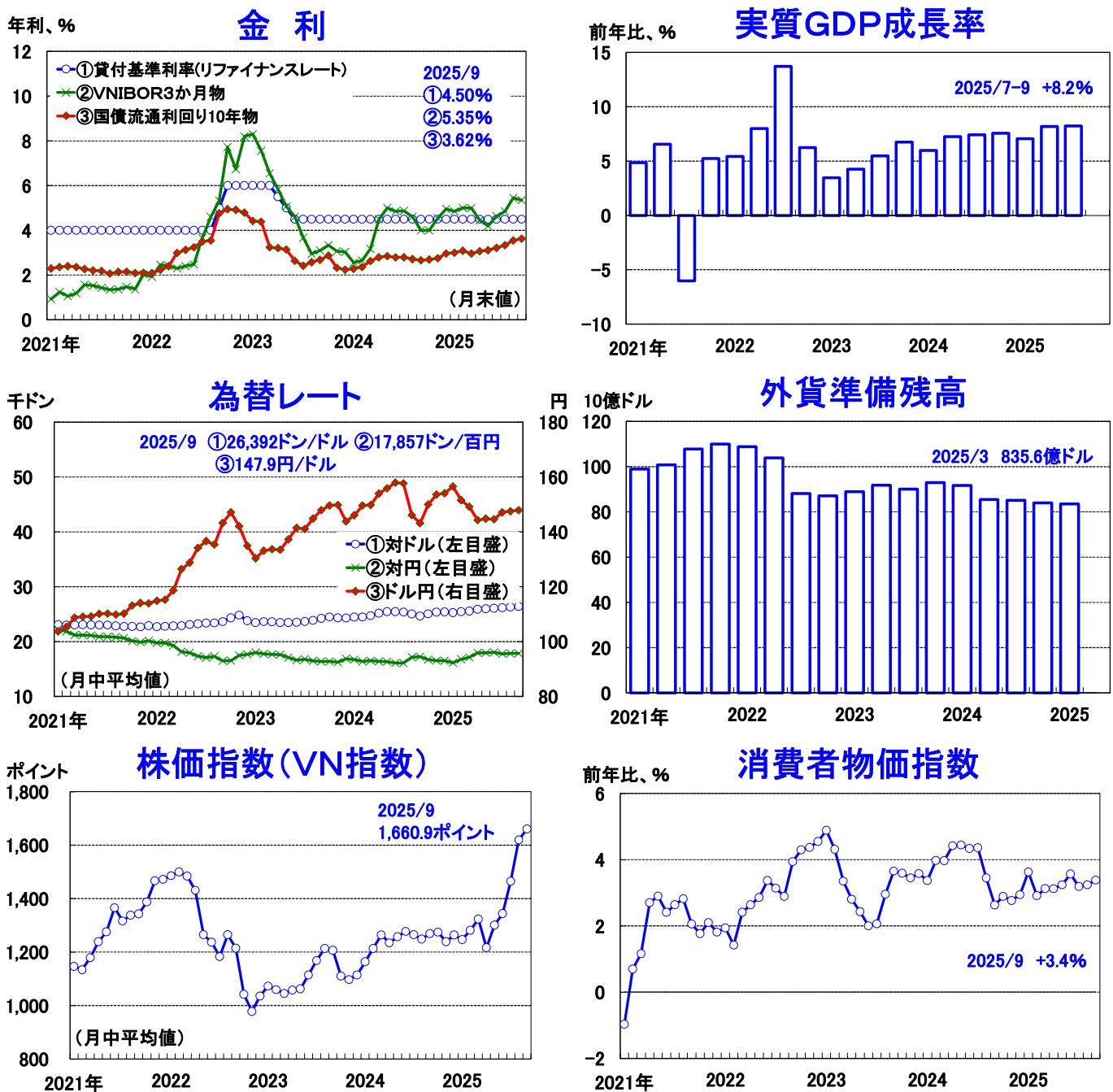


グラフで見るベトナム経済 2025年10月号(No. 189)

2025年7~9月期のベトナムの実質GDP(国内総生産)は前年比+8.2%と、2四半期連続で8%を超える高成長を維持した。直近の9月の指標をみても、景気が回復している様子がうかがえる。個人消費の動きを示す小売売上高は前年比+11.3%と、3か月連続で増勢が拡大した。内訳をみると、商品や宿泊・飲食、観光などが改善している。また、米国向けの大幅な増加などを背景に、輸出も同+24.7%と堅調に増加した。このように需要が持ち直す中、鉱工業生産はゴム製品・プラスチック製品の増産などにより、同+13.6%と2桁増に復調した。

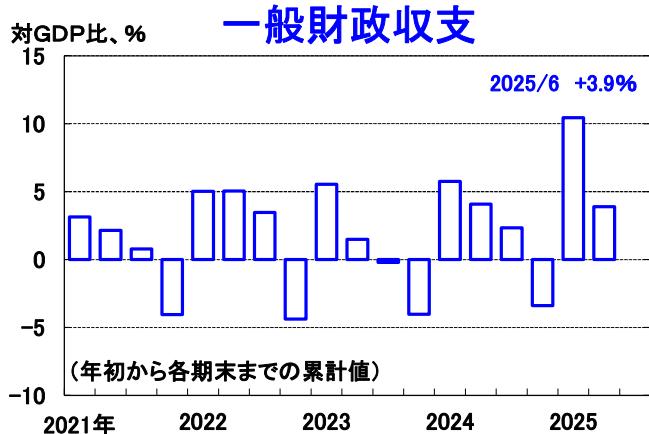
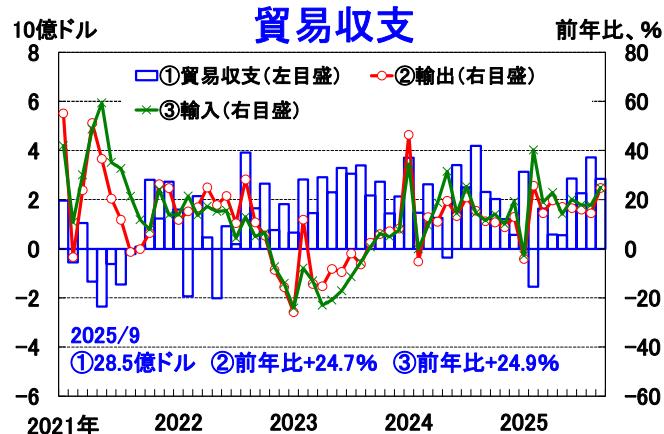
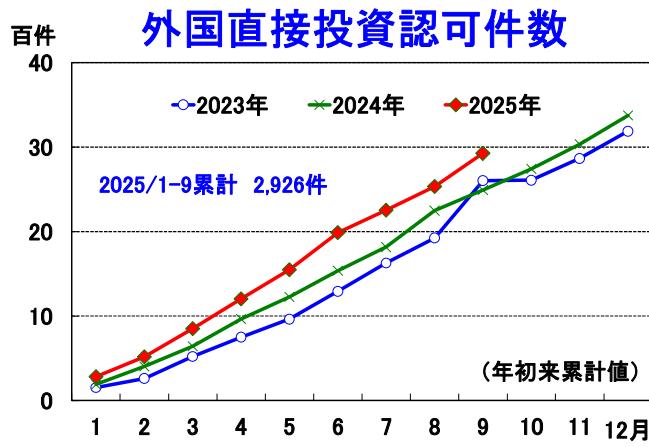
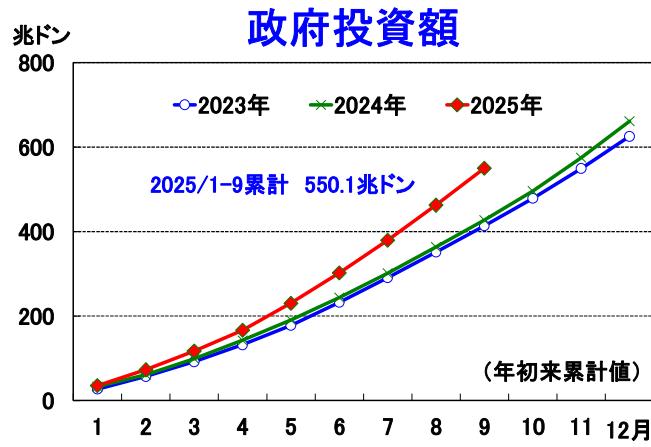
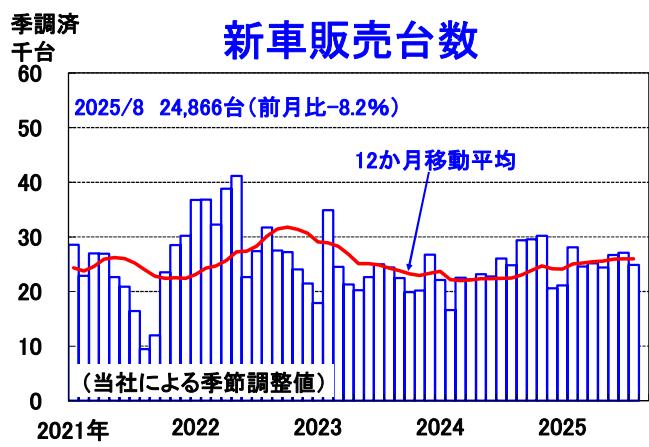
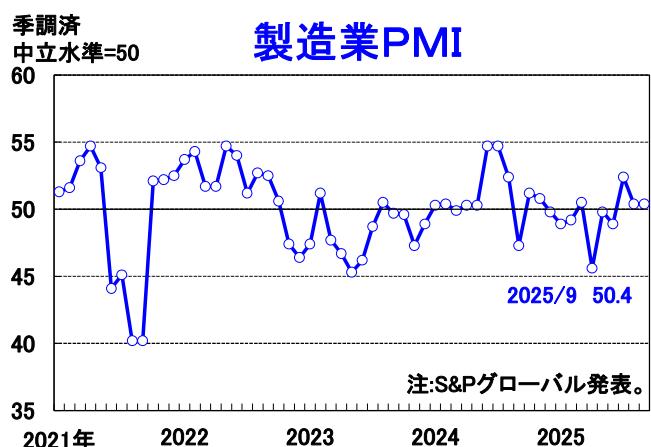
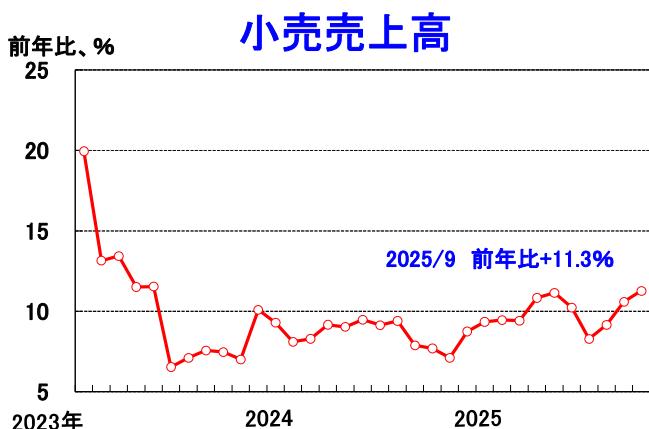
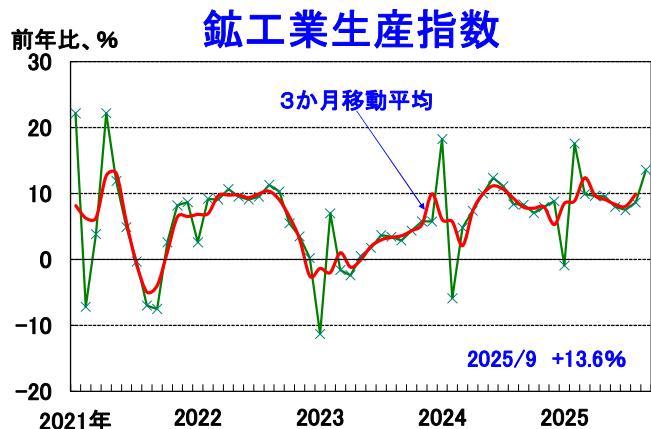
指標 判断 結果	【足元の景気判断】				
	景気全般	輸出	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
	↑	↑	↑	↑	↗

(注)矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) ベトナム国家銀行 (S.B.V.)、ベトナム統計総局 (G.S.O.)、C.E.I.C.、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。